



立命館大学びわこ・くさつキャンパスへのアクセス情報はこちらから



立命館大学のびわこ・くさつキャンパスに入ると、すぐに見えてくるのがDaigasshi Enajisutajiamu(クインススタジアム)。クインスとは木瓜の意味で、この地帯が木瓜の原生林があったことに由来しています。

グラウンドのスタンド部分にある「遺跡保存施設」という扉を開けると階段につながっており、ひんやり

■ 木瓜原遺跡 (草津市)

悠久の昔 製鉄所想像して



とした空気が上がってきます。階段を下ってトンネルを抜けると、目の前には台形の基壇の上に箱型炉が設置された製鉄所跡が広がります。悠久の昔、この場所

で製鉄所が操業していたとおもなっていた、さながら

想像すると、なんだかワクワクしてきます。

木瓜原遺跡は7世紀末、8世紀初頭に、製鉄だけでなく製陶(須恵器、土師器)から梵鐘までの製造を

「古代のコンビナート」といふべき総合生産遺跡です。この近くには源内峠遺跡や野路小野山遺跡など、その時代の前後に操業していた遺跡も残っています。当時、この辺りはなだら

かな丘陵地帯で、4km南西には近江国庁が営まれていました。この近江国庁の設置とともに地域の開発が進められ、木瓜原遺跡もその一環として律令国家の一翼を担っていたと考えられています。

また、同遺跡の鉄滓、鉄鉱石、須恵器などの出土品、梵鐘製造遺構や当時の復元図など貴重な資料が、キャンパス内の「コアシション」1階に展示してありますので、こちらも忘れずに見学してみてください。(草津市観光物産協会事務局 東晋太郎)



④グラウンド地下の製鉄所跡
⑤コアシションの梵鐘製造遺構
いずれも草津市の立命館大学びわこ・くさつキャンパスで



これまでの「しが旅のススめ」はこちらから

一般で遺跡への入場は事前予約が必要。④クレオテックBKCキャンパス業務課 077(561)2648